

「主体的・対話的で深い学びに向かうための 授業改善」実践事例

第2学年

～学級活動の取組から～

「ちくちくとふわふわ」「友だちいろいろ」



【学習のねらい】

「ちくちくとふわふわ」

- 日常的に使っている言葉が、相手をどのような気持ちにするか考えさせることを通して、友達とよりよく関わろうとする態度を育てる。

「友だちいろいろ」

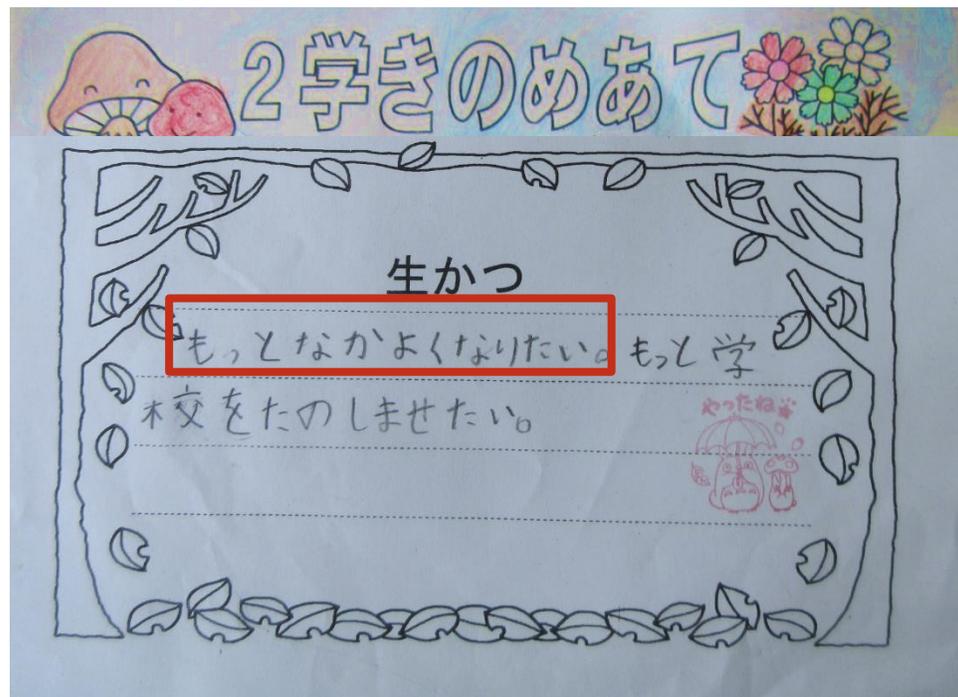
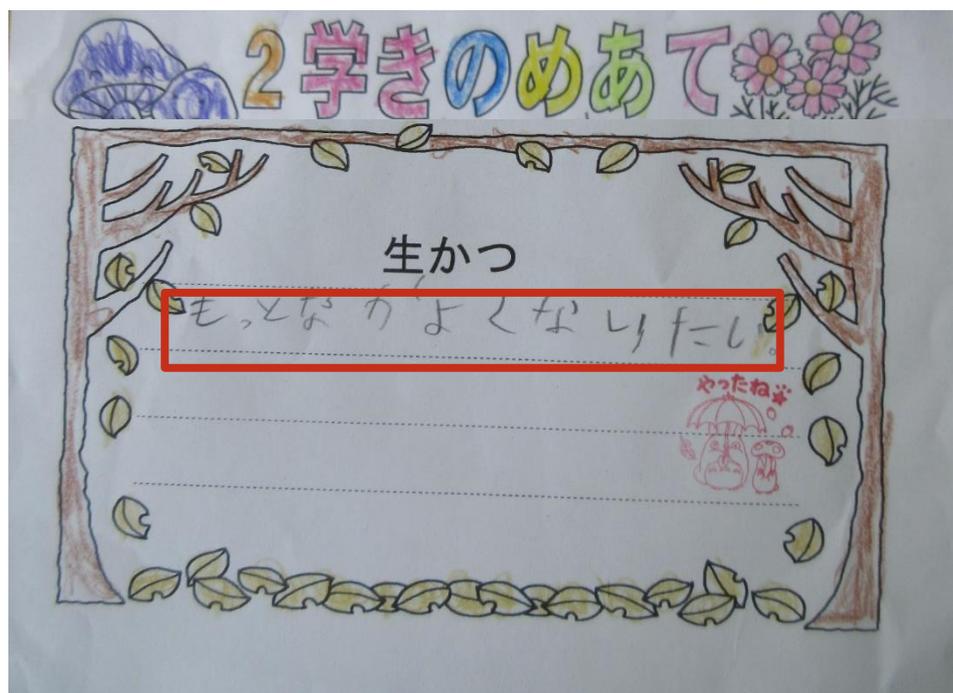
- 自分や友達のすてきなところを考えることを通して、一人一人にそれぞれよさがあることに気付かせることで、自己肯定感を高め、自他を大切にしようとする態度を育てる。

1 子どもが見通しをもち、 自分の考えや思いを主体的に表現するための工夫

(1) 児童の思いを生かした学習課題の設定

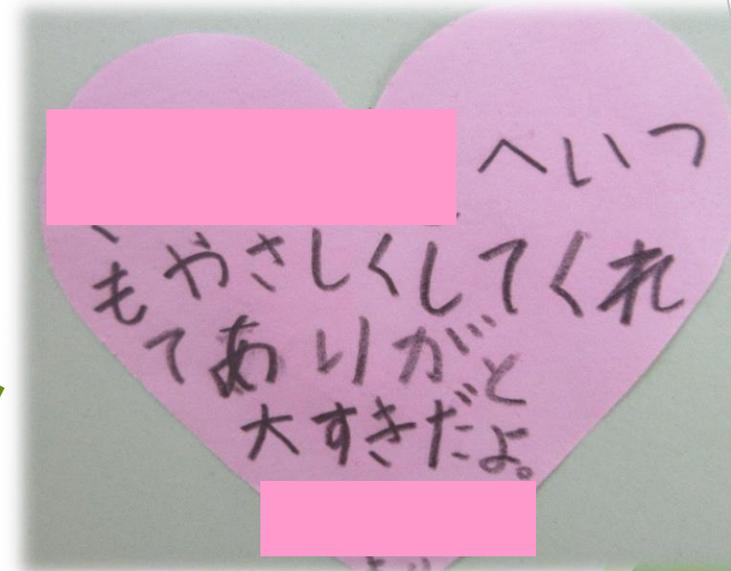
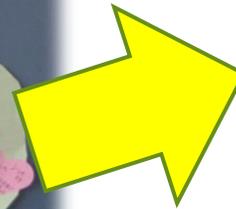
単元名「友だちいろいろ」

9月に掲げた2学期のめあてを授業の導入時に振り返らせることで、児童が主体的に考えようとする意欲を高めた。



(2) 学校の取組と授業をリンクさせた導入 単元名「友だちいろいろ」

全校で取り組んでいる「ありがとうの木」を授業の導入で活用することで、ありがとうカードの内容を確認し、友達のよさをもっと知りたいという意欲をもたせた。また、本時のめあてをしっかりとつかませ、見通しをもって主体的に考えられるようにした。



2 自他を大切にし、 学び合う活動（ハイリントタイム）の充実

（1）安心して意見を伝え合える支持的風土づくり

相手の目を見て話したり、うなずきながら聞いたりする学習習慣の定着化を図ることで、安心して自分の考えを伝え、伝わる喜びを感じられる支持的風土づくりに努めた。



友達の意見と自分の意見と
比べたり付け足したりしながら
伝えることができたね。



友達の考えを聞いたり
自分の考えを伝えたりする
とうれしくなるよ。

(2) 学び合う活動を充実させる工夫

ア 友達のをさを発見する場の設定

多様な関わりがもてるように教師が意図してチームの編成を行うことで、互いの新たな一面を発見したり、話合いの役割に責任をもって取り組んだりする態度が育つようにした。



今日はチーム
オムライスのメ
ンバーで集まっ
て話してみよう。

(2) 学び合う活動を充実させる工夫

イ 自己肯定感を高める工夫

友達の「すてき」を見付ける活動の前に、自分の好きなどころを振り返らせた。その後、友達から自分のよさについて教えてもらう活動を設定することで、一人一人にそれぞれよさがあることに気付かせた。

自分のここが好き♡
2年 名前 ()



2年 10月 自分の顔

★ 自分のいいところをたくさん書きましょう。

サッカーがすき。はしるのがはやくてよかった
さんたくがおはたらりとりにいく。ふざあらい。
おてつたい、が大すき。

自分のここが好き♡

2年 名前 ()



年 月 自分の顔

★ 自分のいいところをたくさん書きましょう。

かんぱ、マかんじをおぼえてる。
ちさいくちいからひりがなをかんぱっている。
ちよ、とあ、ちよこちい。
しんけんなところがある。こえをかえれる。
家ではうたかうまい。なにかを考えると、
しんけんすきてはなしをきいていなくてお
もしろいし分かすきし

(2) 学び合う活動を充実させる工夫

ウ 互いに興味をもたせる場の設定

「わたしはだれでしょう？」クイズを設定し、友達に興味をもったり、友達のことをより知ったりすることができるようにした。そうすることで、自分と友達の違いを感じ、ハイリントタイムでは、自分の考えと比べて聞こうとする態度が見られた。

クイズ わたしはだれでしょう？

インタビューをしましょう。



友だちにインタビューをして、どんどん友だちのことを知っていきこう！

- ① わたしは がすき
- ② はにかて
- ③ わたしのとくいなことは
- ④ 今までで一番うれしかったことは
- ⑤ わたしのたからものは
- ⑥ わたしは… (オリジナルインタビュー)

クイズ わたしはだれでしょう？

インタビューをしましょう。



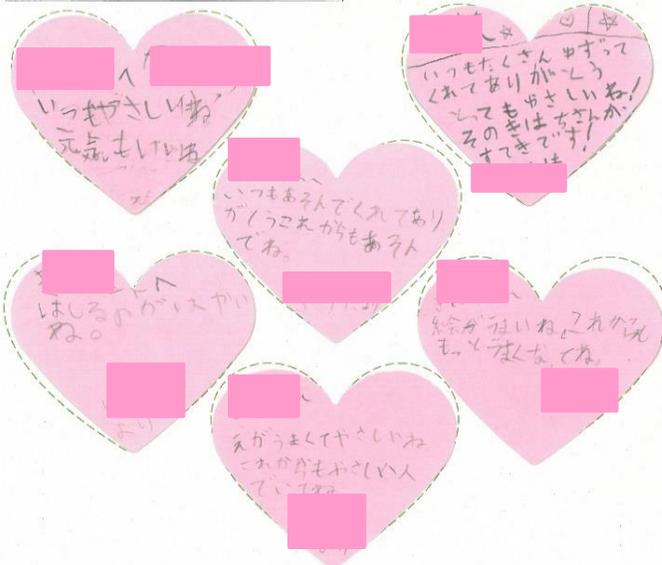
友だちにインタビューをして、どんどん友だちのことを知っていきこう！

- ① わたしは がすき
- ② はにかて
- ③ わたしのとくいなことは
- ④ 今までで一番うれしかったことは
- ⑤ わたしのたからものは
- ⑥ わたしは… (オリジナルインタビュー)

(2) 書く活動の設定

終末で書く活動を取り入れることにより、自分の思いや考えを整理し、自己を見つめ直すことができるようにした。

なかよし大さくせん！友だちの「すてき」を知ろう。 2年 名前



★ じぶんや友だちの「すてき」を読んで 思ったことを書こう。
いいことをしたかった ぜんぜんすこしかった
すてきってやっぱりいいな。

★ 友だちのよいところを もっと見つけるためのさくせんを 考えよう！
自分がかんがえる 友だちとあそぶことも
いつも友だちを見つめるにいいものさ いつも見つける

★ じぶんや友だちの「すてき」を読んで 思ったことを書こう。

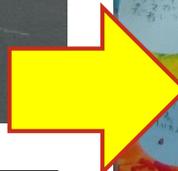
いいことをしたかった ぜんぜんすこしかった
すてきってやっぱりいいな。

★ 友だちのよいところを もっと見つけるためのさくせんを 考えよう！

自分がかんがえる 友だちとあそぶことも
いつも友だちを見つめるにいいものさ いつも見つける

(3) 子どもたちの学びや意欲を生活につなげる工夫

友達の「すてき」をもっと見付けたいという子どもたちの思いを基に、友達の「すてき」を集める「にじいろの木」をつくった。授業後にも友達のよさを見付ける活動を毎月行い、より自他を大切にしようとする気持ちが育つようにした。



すぐに実践！！



成果

- ハイリントタイムの充実を図ることで、自分の考えが相手に伝わり、相手が受け入れてくれる喜びを感じるなど、安心感を持ち、学び合う楽しさを味わわせることができた。
- 自分では気付かなかった「すてき」を友達から伝えてもらうことで、協働的に学び合うことよさや楽しさを実感し、自らも主体的に伝えようとする態度が育った。
- 相手の思いを受け止める経験、みんなで決めたことを尊重する経験を積み重ねていくことで、子どもたち一人一人の学級への所属感や連帯感を高めることにつながった。

課題

- ハイリントタイムの際には、子どもたちの学びの状況を正しく見取り、子どもたちの学習・姿とつなげていく重要性を感じた。評価の視点を明確にして見取ることが必要である。
- 自分たちで友達の考えとの類似点や相違点を見付けたり、全体で確認した後にもう一度自分の考えを深化させたりすることは課題が残った。十分な振り返りの時間の確保と設定の仕方をさらに吟味していきたい。
- 他教科との関連を図りながら話合いのルールづくりや子どもたち一人一人の話合う力を高めていけるような指導方法について、さらに研究を深めていきたい。